

はいっしも探索



圃場整備を経ても 受け継がれた関係性

ミラボ/3--lab 代表
吉田 裕枝



●プロフィール
愛知県生まれ。京都大学、同大学院、Yale University 大学院で建築を専攻し2018年に滋賀県立大学で環境科学博士号取得。長谷川逸子・建築計画工房株式会社で在籍時に公共建築の企画運営ワークショップ、公園設計、オペラデザイン等に携わり、2005年、ミラボ/3--lab を設立する。他、京都造形芸術大学、成安造形大学などで、非常勤講師を務める。



■9月にIFLA（国際造園家連盟）2019 学会オスロ大会（ノルウェー）に参加し国際学会で、針江のかばたと田の関係について発表してきました。



■7月に針江地区の藻刈りに参加しました。文献だけではよくわからなかったことを実際、現場で自分の目で見て体験したいという思いから針江の季節行事に参加させていただいています。
環境は、仕組みを含めてのものだと考えていますので現在の集落の維持管理がどのように進められているのかを具体的にを見せていただけたのは得られたデータを読み解く貴重な機会となりました。

「市・文化財課からののお知らせ」



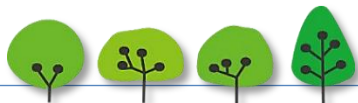
■「高島市針江・霜降の水辺景観」が国の重要文化的景観に選定されたのは、2010年の8月のことでしたので、本年2020年は、選定からちょうど10年目の年にあたります。この間、地域の皆さんには、様々な場面で文化的景観の保存や環境維持にご理解とご協力をいただけてきたところです。

ただ、暮らしとともにある文化的景観は、変化をすることが当然で、場合によっては、無くなったり、壊れてしまったりすることもあります。それを少しでも防ぐよう、またその後の修理が残念な変化にならないよう、事前に整備の方針や手法を定めておく計画が、現在高島市で作成中の「重要文化的景観整備計画」です。

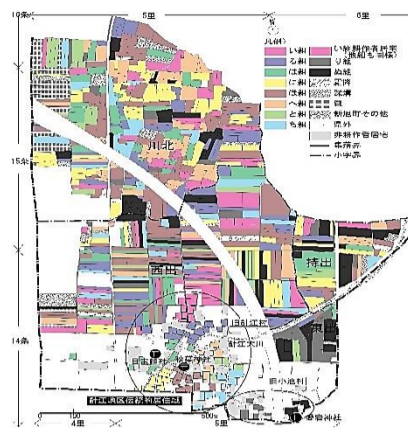
間もなく完成予定のこの計画では、「針江・霜降の水辺景観」の特性を、「人々の生活に密着した水循環システムが長年維持される中で、水を中心とした集落景観が作り上げられ、それが現在まで良好に守り続けられていること」とし、市内3箇所の重要文化的景観全体の整備の基本方針の一つとして「水辺の生活文化の継承」を掲げています。

今後は、この整備計画を活用しながら、地域の皆さんと一緒に文化的景観の保存と、より良い変化の方法を探していきたいと思っています。

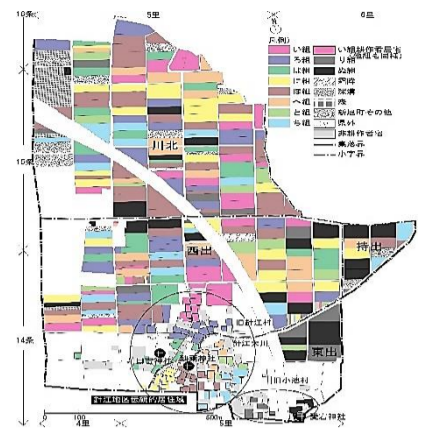
高島市教育委員会 文化財課
主幹 山本 晃子



針江地区の田の所有分布 従前図



針江地区の田の所有分布 換地後図



■学位論文のテーマもまだ決まっていなかった時、ウェブサイトでふと目にした針江地区のエコツアーに参加したのは、10年程前のことでした。JR 新旭駅から続く水路の水が驚くほど透明で、その先にはどんな景色が待っているのかなと期待に胸を膨らませながら、曲がった道の向こうに、抜きんでキラキラと輝く日吉神社と水車小屋（本当にそのように見えました）を目にした時の印象は、まだ強く心に焼き付いています。

私の研究テーマは「景観の関係性」というものです。具体的には、安曇川平野一体に存在すると言われていた、細分化した田の所有という伝統を手がかりに、こうした田の零細所有はなぜ始まったのか、そして、それは圃場整備の換地を経てどう変化したのか、さらには、その分散的な田と「かばた」とはどんな関係があるのか、などを調べ、学位論文としました。景観の関係性とは、平たくいえば、景観を形づくるベースになっているのは、どのような人間の関係なのか、逆に、どのような人間の間接関係をつくりたくて、景観がデザインされているのか、を知ることだと言えます。

文化的景観が、人の生活の歴史が凝縮した景観だと言われるのは、景観を陰で支えるこうした関係性が存在するからではないのかと考え、このようなテーマを選びました。私自身は、もともと建築の設計出身ですが、建築とは本来、様々な関係をデザインする分野だと思っています。これからも続く集落の未来を凍結することなく景観を尊重し、守っていくために、ふさわしい方法とはどのようなものなのか、私ならではの視点と経験を生かした、実践のあり方を模索したいと考えています。



はいっしも information 守る。伝える。活かす。

針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会の活動には、高島市が国から交付を受けた地方創生交付金が活用されています。



カバタの調査・追加認定 受け付け中!

◆重要文化的景観に選定された際に重要な構成要素として認定されているカバタ（45件）などを保存修理・修復する場合は、経費の補助を受ける制度があります。

◆国の認定を受けていないカバタや文化的建造物等も今後の調査検討により追加認定が可能です。

◆「保存修理」、「追加認定」をご希望の方は、当協議会の役員までご相談ください。

◆針江・霜降の大川や周辺の水辺環境整備に、高島市から当協議会に交付された国の助成金が活用されています。

2019年度 針江・霜降の水辺景観まちづくり協議会 役員
会長 足立 亨 副会長 清水裕之（針江区長）青木 博（霜降区長）
〔針江〕高田一雄 田中義孝 三宅 進 高橋正通 北野俊朗
〔霜降〕山川茂樹 山川 隆 明政勝治 海東 弘